

技術と経済

2005年 年間総目次

右の①～⑫は月号、数字はページです。

●特集

◆メンテナンス技術における暗黙知（匠の技）の伝承

メンテナンス研究会ミニ・シンポジウム開催にあたって……………	種市 健	・①	4
車両メンテナンス技術の伝承……………	金子 良一	・①	6
製鉄設備運転・メンテナンス技術の伝承……………	高田 寛	・①	14
送電・配電設備のメンテナンス技術の伝承……………	磯崎 正則	・①	22
L S I 製造設備にかかわるメンテナンス技術の伝承……………	小池 淳義	・①	31

◆メンテナンス技術と暗黙知の伝承（シンポジウム）

金子 良一／高田 寛／磯崎 正則／小池 淳義／安元 昭寛……………	②	1
-----------------------------------	---	---

◆価値創造型もの創りへ向けて

価値創造型製造業を目指して……………	柘植 綾夫	・③	1
知的財産権活用による高付加価値ものづくり……………	新井 喜美雄	・③	26

◆イノベーションへの挑戦

イノベーションと新事業創造……………	木嶋 豊	・④	2
科学と技術、国創りについて考える……………	柘植 綾夫	・④	34

◆技術経営連携講座

技術経営の指導性—私のリーダーシップ論—……………	角 忠夫	・⑤	2
日本版L L P制度の導入について……………	石井 芳明	・⑤	17

◆技術競争力と経営戦略

船舶用プロペラで世界トップの経営……………	中島 博	・⑥	2
分社・持株会社制によるR & Dの改革……………	河野 満男	・⑥	14

◆知的財産権と事業展開

特許・ノウハウ管理が経営競争力に及ぼす影響について……………	鮫島 正洋	・⑦	2
知的財産戦略経営と新規事業創出……………	増山 博昭	・⑦	12

◆安全・安心な社会を支える科学技術

地震大国日本の備えは万全か……………	関 松太郎	・⑧	2
--------------------	-------	----	---

日本のエネルギーセキュリティの将来は安心できるか	内山 洋司・⑧	14
ユビキタス社会における安全と通信のセキュリティ	林 紘一郎・⑧	26
21世紀に期待されるバイオ技術	坂口 謙吾・⑧	38

◆技術競争力と経営戦略【II】

我が社のバイオ機器開発戦略	昼馬 日出男・⑨	2
独創的のものづくり技術で世界に貢献	中村 義一・⑨	16

◆技術マネジメント力

研究開発成果の企業価値化	阿部 仁志・⑩	2
コア技術を生かし、更なる技術開発型企業へ	根本 郁芳・⑩	12

◆日本のモノづくり

日本の金型産業論	中川 威雄・⑪	2
トヨタ自動車におけるハイブリッド自動車開発への取り組み	八重樫 武久・⑪	12

◆ITシステムによる経営変革

ヤマトが挑戦する全国配送システムの限りない高度化、お客様の満足を追求して	芝崎 健一・⑫	2
モノ作り専門のビジネスマッチングの場の提供による日中製造業の架け橋づくり	井上 直樹・⑫	11

●寄稿・特別企画

スペインの世界遺産を守る技	杉本 賢司①	50
技術経営とは何かー私の MOT 論ー	金子 尚志②	18
富栄養化の海を利益を上げつつ活性化してゆく方法	山口 仁士②	50
植物から医薬へ	波多野 力②	61
ナノ粒子と周辺技術の発展	神谷 格 ③	44
ユビキタス情報処理社会を創り出す技術	中島 秀之⑤	36
FTA を中心とした通商政策	杉田 定大⑦	71
実践的ケースに学ぶ企業改革におけるトップの役割	角 忠夫⑦	41
日本とアジアに官民パートナーシップの時代が到来	杉田 定大⑩	66
研究開発成果の企業価値化：技術者のためのビジネスモデル設計論（後編）	阿部 仁志⑪	44

●連載

◆アジアの創業事情	増田 辰弘	
現地販売型ビジネスを中国・抗州で立ち上げ	①	42
日本企業への本格的ベトナム投資支援ビジネス	②	32
アジア最初のベトナム工場を操業半年で黒字化	③	38
中国・ベトナムに空調設備サービスのリーダー役で進出	④	60
軽量経営で、台湾、中国、韓国を席卷するオフィス向けのコーヒーサービス事業	⑤	30

10億人のタフな市場に即席めん（ラーメン）で挑戦	⑥	44
日中間に横たわる反日デモの断層	⑦	62
西南アジアのビジネス風土をクリアした日本料理店	⑧	52
マカオで日本の中小企業支援施設がスタート	⑨	34
今回の元の切り上げから何を読み取るべきか	⑩	28
日本、シンガポールの両エンジニアリング拠点と生産拠点を結ぶビジネス軸線	⑪	26
ミャンマーのヒスイ製品をネット販売を中核に据え早期に事業を軌道化	⑫	30

◆おかげさまで 美味しいもん	白田 典子	
鍋のあとの楽しみは	①	40
これさえあれば	②	30
食べられないところが大切	③	36
「買いたい」には理由がある	④	58
忘れられない味は	⑤	28
忘れちゃいけない「信頼」	⑥	42
「相对比较」	⑦	56
おいしく食べたい	⑧	50
「手づくり」「逸品」「こだわり」安易に使っていませんか	⑨	32
賞味期限	⑩	26
幸せってなんだっけ？	⑪	30
知産知食	⑫	29

◆ 上海の窓を開けて	吉田 梨華	
2005年、上海のプライド	②	37
恐怖の引越し？	③	43
ニセモノ天国	④	65
気になる？食品添加物	⑤	35
デモが告げる上海の実体	⑥	49
日本人医師 vs. 中国人医師	⑧	50
上海で総選挙を思う	⑪	31

◆未来工研コーナー			
要素技術アウトルキーと日本企業の特許戦略	長谷川 光一	①	60
第二次ブッシュ政権とパルミザーノ・レポート	鈴木 潤	②	68
食品の風評被害と軽減対策	上野 伸子	③	70
情報セキュリティ分野における人文・社会学系技術の活用	笠井 祥	④	80
生活者ニーズ把握の試み	菊田 隆	⑤	71
電磁界の健康影響と科学リテラシー	本間 純一	⑥	66
携帯電話に結晶する伝統技術のミーム	小澤 淳	⑦	58
インターネットと日本人の感性	齋藤 宏保	⑧	58
PC会議システムの教育・研修への活用の検討	黒田 文彦	⑨	39

環境技術に対する期待と長期的な環境政策との課題	大竹 裕之 ^⑩	43
重点化施策後に少子化を迎える大学院の課題	緒方 三郎 ^⑪	32
知の時代における大人の学びの術	森 康子 ^⑫	38

◆メンテ研コーナー

疲労センサによる寿命診断について	村岸 治 ^⑤	60
トータルリモート I T サポートシステム	坪 尚義 ^⑥	56
次世代メンテナンスと生産システムの最近の進歩	Dr. Jay Lee ^⑧	66
ITIL の概要について	谷 和純 ^⑨	46
新しい情報技術によるモノづくり知識伝承システム	成子 由則 ^⑩	54
自動車リサイクル法と自動車業界の対応	谷口 実 ^⑪	36
家電リサイクルによる電機電子産業のブレークスルー	上野 潔 ^⑫	21

◆技術競争戦略研究会講演録

オンリーワン企業と技術経営	唐津 一 ^⑥	50
経営戦略と知的財産の取り組みについて	生方 眞哉 ^⑦	28
精密測定機器の世界 NO. 1 企業 ミットヨ	松宮 貞行 ^⑫	42

◆技経会コーナー

産学連携への取り組み：日米欧比較	原山 優子 ^①	70
技術経営会議第 63 回本会議議事模様		⑫ 34

◆バイオニクスへの挑戦

バイオニクスへの挑戦—バイオ機器開発最前線	軽部 征夫 ^②	38
バイオチップと医療	横山 憲二 ^③	54
バイオメトリクス—生態認証技術とビジネスの動向—	瀬戸 洋一 ^④	66
バイオイメージング機器—インテリジェント手術室での術中イメージング	伊関 洋 ^⑤	44
環境とナノテク	後藤 正男 ^⑩	34

◆コラム

知ることがリスクを減らす第一歩～「危険度マップ」～	高瀬 裕 ^①	68
中高年 I T ベンチャー創業の勧め	小山 誠 ^②	74
宇宙開発における準天頂衛星の役割	辻野 照久 ^④	85
各国の宇宙輸送システム開発動向	辻野 照久 ^⑧	64
シニア世代の研究者を有効活用する		⑨ 69
欧州の情報化社会技術に関する予測調査〔FISTERA〕	藤井 章博 ^⑩	52

● J A T E S コーナー

海外友誼団体 IRI 会長 JATES 表敬訪問		① 48
わが経営理念『おもしろおかしく』	堀場 雅夫 ^⑥	74

第 39 回通常総会議事模様	⑨	76
人口減少は日本の企業経営に致命的リスクとなるか	松谷 明彦⑨	58

●書評

ネット王子とケータイ姫	田子島 一郎①	80
日本のエジソン 城戸淳二の発想	波多野 裕①	81
イギリスの情報外交	田子島 一郎②	76
年表で読む情報百科	生部 圭助②	77
イノベーションの経営学	児玉 文雄②	78
環境リスク学—不安の海の羅針盤	田中 一宣③	75
しなやかにプロフェッショナル	菱沼 真理以③	76
アメリカの教育改革	堀 雄太郎③	77
MOT 事例研究 注目先端技術 成功の理由	大谷 卓史③	78
中国暴発	田子島 一郎④	84
新人生論ノート	田子島 一郎⑤	78
科学経営のための実践的 MOT	佐久田 昌治⑤	79
ほんとうは日本に憧れる中国人	田子島 一郎⑥	88
「産業科学技術」の哲学	下村 芳樹⑥	89
発明文化論	沼本 要七⑦	92
企業福祉の終焉	田子島 一郎⑧	77
スタート! 「産学連携」	松木 則夫⑧	78
スペースシャトルの落日	大谷 卓史⑧	78
起源のインターネット	大谷 卓史⑨	70
ペースメーカーの父・田原 淳	生部 圭助⑨	71
価値創造学	松井 好 ⑨	72
CIA 失敗の研究	田子島 一郎⑨	73
オルデンバーグ—十七世紀科学・情報革命の演出者—	大谷 卓史⑩	76
中国は社会主義で幸せになったのか	田子島 一郎⑪	52
はじめて読むドラッカー【技術編】	大谷 卓史⑪	53
わかったつもり	田子島 一郎⑫	53
中国が世界標準を握る日	大谷 卓史⑫	54

♣バックナンバーのご案内♣

上記バックナンバーは随時販売しております。(各号共 525 円：税込み)

残りわずかの号もありますので、ご注文はお早めに!

ご注文・お問い合わせ先：総括部・井上

電話 03-3263-5501 / e-mail inoue @ jates.or.jp